



Yokohama Arts Foundation

令和4年5月6日  
(公財)横浜市芸術文化振興財団  
大佛次郎記念館

もののふ みやび おさらぎじろう  
**武士と雅、歴史と創作のはざままで織りなす、大佛次郎の時代小説**  
さねとも さくらこ  
**テーマ展示「実朝と桜子」開催中！**

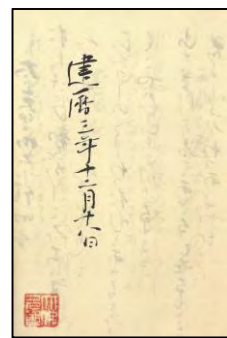
横浜・港の見える丘公園の大佛次郎記念館では、大佛次郎(1897-1973)の時代小説『源実朝』と『桜子』の2作品を紹介するテーマ展示「実朝と桜子～大佛次郎が紡いだ武士(もののふ)と雅(みやび)」を開催中です。

**第一章『源実朝』** 鎌倉を愛した作家が描く、中世鎌倉と“源氏の血”のゆくえ

源頼朝の子であり、鎌倉幕府三代将軍の実朝を題材とした作品。源氏の棟梁であり和歌を愛した実朝の人生を、『金槐和歌集』に遺された歌や、大佛次郎の文章とともに辿ります。

国破れて山河ありと云ふが、七百年前に実朝を囲んでみた自然と、現代の僕が鎌倉の谷戸の奥へ入って眺めるものとは、さして違ひはない筈である。  
(連載前の「作者の言葉」より)

連載の開始は、実朝生誕750年にあたる1942年(昭和17)。鎌倉住まいの大佛次郎は、歴史は郷土史家の亀田輝時に、実朝の和歌は歌人の吉野秀雄にと、鎌倉の知人たちの協力を得て作品を紡ぎました。



大佛次郎が旧蔵していた定家所伝『金槐和歌集』の昭和五年複製本。奥書部分に「大佛次郎」印がある。

**第二章『桜子』** 謎の姫を軸に、乱世を生きる人々の運命が交錯する

室町時代、応仁の乱が続く京の都では、市街が戦場となるいっぽう、将軍足利義政のいる御所では華やかな空気が漂っています。

ある日、戦場で暴れまわる足軽の大男・弁慶は、桜の木の下で謎の娘を拾います。弁慶は娘を桜子と名付け、大切に育てますが・・・。

そこに立つと、足もとの寺の大屋根の上に、琵琶湖の水が、春日のように目に暖かく柔かい霧をまとって満々と拡がっていた。明るいな、と思わず声に出るくらい、眉ものびのびとする。  
(大佛次郎が『桜子』の舞台とした寺を訪れた際のエッセイ「秋の寺」より)



佐多芳郎(さた・よしろう)画『桜子』

作中では桜子や弁慶のほか、月姫、阿修羅など創作の人物に加えて、将軍義政や日野富子など実在の為政者たちが登場し、雅な2つの香「蘭奢待(らんじゃたい)」と「軒漏月(のきもるつき)」が物語の鍵となります。

武士と雅、史実とフィクションのはざまに広がる2作品の大佛ワールドをお楽しみください。

展示会期	2022年4月23日(土)～8月21日(日)	料金	観覧料 大人(高校生以上)200円
	前期:4/23(土)～5/29(日)		中学生以下 無料
中期:5/31(火)～7/10(日)	※横浜市内在住の65歳以上の方は100円		
後期:7/12(火)～8/21(日)	※毎月23日「市民の読書の日」と、第2・第4土曜日は高校生無料		
開館時間	10:00～17:30(入館は17:00まで)		※障がい者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は無料
休館日	月曜日(祝休日の場合は翌平日)		

※当展覧会の情報掲載をよろしくお願ひします。取材の際は事前にご一報ください。広報用画像の提供が可能です。

お問い合わせ先

大佛次郎記念館【公益財団法人横浜市芸術文化振興財団】

館長:福富潤子 展示担当:安川篤子、金城瑠以 広報担当:大房奈央子

TEL:045-622-5002 Mail:osaragi@yaf.or.jp

大海の  
磯もとどろに  
寄する波  
われてくだけて  
さけて散るかも  
源実朝

# 実朝と桜子

もののふ みやび  
大佛次郎が紡いだ武士と雅

2022年4月23日(土) ~ 8月21日(日)

開館時間/10:00~17:30(最終入館17:00)

休館日/毎週月曜日(祝休日の場合は翌平日)

観覧料/一般 200円 中学生以下無料 20名以上の団体は150円

\*横浜市内在住の65歳以上の方は100円。(演ともカード等をご提示ください)

\*障がい者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は無料。

\*毎月23日(市民の読書の日)と第2、第4土曜日は高校生無料。

「御名香でござるな」と、ひくく声をかけてきたのは、部屋に漂う香のとめきを聞いたのである。声がかれると、夜はしんとしていた。

『桜子』より

おさらぎ じろう きねんかん  
大佛次郎記念館

(公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団)  
The Osaragi Jiro Memorial Museum

〒231-0862 横浜市中区山手町113(港の見える丘公園内) TEL:045-622-5002 FAX:045-622-5071 <http://osaragi.yafjp.org>

協賛:株式会社浦辺設計 / 大佛次郎研究会 / 株式会社ボンパドル / 横浜高速鉄道株式会社 ※新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、予定を変更する場合がございます。



# 実朝と桜子

大佛次郎が紡いだ武士と雅

2022年4月23日(土)～8月21日(日)

## ～源実朝～

鎌倉在住の歌人・吉野秀雄、郷土史家・亀田輝時らの協力を得て、大佛が造形した実朝像をご紹介します。

〈連載〉  
昭和17年9月号～18年11月号「婦人公論」、  
昭和20年6月号～21年3月号「新女苑」

“私”が三十年間を鎌倉に住み、  
土地の四季や自然の移り変りに  
馴染んでいた点は、多少この小説に役立った”

「源実朝」草稿  
当館蔵



## ～桜子～

新聞連載を盛り上げた日本画家佐多芳郎の美しい挿絵パネルとともに、雅な仕掛けが謎を呼ぶ、大佛の作品世界をたどります。

〈連載〉  
昭和34年6月25日～35年2月24日「朝日新聞」夕刊

“リアルな時代小説に傾きかけている自分を  
知って、大衆小説にふさわしい  
ロマンチズムに戻ろうと反省した折の仕事である”



佐多芳郎画  
「桜子」色紙  
当館蔵

※会期中、資料保護のため展示替えを行います。前期：4/23(土)～5/29(日)／中期：5/31(火)～7/10(日)／後期：7/12(火)～8/21(日)

愛と死、武士と雅が交錯する中世物語世界へ

大佛次郎(1897-1973)の歴史小説『源実朝』は、鎌倉幕府三代将軍であり和歌を愛した実朝の鮮烈な人生を、遺された歌とともにたどった作品です。

いっぽう、室町時代、応仁の乱で荒廃した京を舞台とする『桜子』は、謎の姫・桜子を軸に、乱世を生きる都人たちの愛憎を描き出した情感溢れる物語です。

本展では、史実とフィクションの間に広がる色彩豊かな大佛ワールドにせまります。

「関連イベントその1」

### 「大佛次郎作品の世界」 スライド上映

大佛次郎は「源実朝」で鎌倉を、「桜子」で京都・滋賀の情景を描写しました。作品ゆかりの場所や関連資料の画像を、大佛次郎の文章とともにお楽しみください。

会場：大佛次郎記念館2Fサロン

「関連イベントその2」

### 和の装いで「和」ビブリオバトル

美しい薔薇の季節に、大佛次郎記念館の和室で和の装いで「和」をテーマとしたビブリオバトルを行います。

日時：2022年5月14日(土)  
13:00～16:00

会場：大佛次郎記念館和室  
参加費：無料(要事前申し込み)  
定員：15名(応募者多数の場合は抽選)  
※詳細はHPをご確認ください。

## 鎌倉文学館 × 大佛次郎記念館 配信イベント「展覧会のススメ」

鎌倉文学館の特別展「鎌倉時代黎明」では、鎌倉時代の黎明期を古典から近現代までの幅広い作品でたどっています。動画では、鎌倉文学館、大佛次郎記念館の各館職員が、それぞれの展覧会の魅力を語り合います。※詳細は各館ホームページをご確認ください。

## 鎌倉文学館 × 大佛次郎記念館 入館料相互割引

下記の期間中、各展覧会のチケット半券ご提示で入館料50円引き。

特別展  
「鎌倉時代黎明～文学で読むはじめてのはじまり」  
4月16日(土)～7月3日(日)  
tel. 0467-23-3911

テーマ展示 大佛次郎記念館  
「実朝と桜子」  
4月23日(土)～8月21日(日)  
tel. 045-622-5002

※他の割引と併用できません。休館日、入館料などの詳細は各館にお問い合わせください。

## 展示解説

事前申し込み制、お申込みはHPより

### 【展示解説】

第2土曜日 14:00～ 約30分  
5/14、6/11、7/9、8/13

### 【建物ミニ・ミニトーク】

第3土曜日 14:00～ 約15分  
5/21、6/18、7/16、8/20

## 次回展示

予告

9月3日(土)～  
「JAZZが聞こえる  
大佛次郎の  
昭和モダン」

## 休館の

お知らせ

展示替および資料整理のため、  
8/22(月)～  
9/2(金)は  
休館いたします。

## 電車

- みなとみらい線(東急東横線直通)で：元町・中華街駅下車(元町方面改札)／6番出口(駅直結のエレベーター・エスカレーターを利用、アメリカ山公園経由)／5番出口(谷戸坂経由)いずれも徒歩8分
- JR線根岸線で：石川町駅下車(元町口)徒歩20分

## バス

- 神奈川中央交通バス11系統(桜木町駅～保土ヶ谷駅東口)
- 市営バス20系統(山手駅～桜木町駅)
- 観光スポット周遊バス「あかいくつ」いずれも港の見える丘公園前で下車、徒歩2分

大佛次郎記念館

〒231-0862 横浜市中区山手町113(港の見える丘公園内)  
TEL:045-622-5002 FAX:045-622-5071 <http://osaragi.yafj.jp>

